

・分類は下記によった。

- | | | | | |
|--------------|----------|-----------|--------|-------------|
| (1) 巻頭言 | (2) 座談会 | (3) 展望・解説 | (4) 特集 | (5) シリーズ特集 |
| (6) 研究論文 | (7) 技術報告 | (8) 見聞記 | (9) 書評 | (10) グループ紹介 |
| (11) 技術・行政情報 | (12) 談話室 | (13) その他 | | |

(題 目)	(所 屬)	(執筆者)	(頁 数)
-------------	-------	-------	-------

新年のごあいさつ.....	エネルギー・資源学会 会長, 兵庫県立大学副学長	鈴木 胖	Vol. 27 No. 1 - 1
「小さな政府」と今後のエネルギー政策	エネルギー・資源学会 編集実行委員長, 筑波大学教授	内山 洋司	Vol. 27 No. 1 - 2

「21世紀のエネルギーを担う新しい人材育成」……………(独)産業技術総合研究所 関西センター所長 請 川 孝 治 Vol. 27 No. 1 - 3
三菱重工工業株高砂製作所所長 佃 嘉 章
東京工業大学原子炉工学研究所教授 藤 井 靖 彦
大阪ガス(株)顧問 (前 副社長) 松 村 雄 次
(司会) 住友電気工業(株)電力・エネルギー研究所超電導開発室主幹 廣 瀬 正 幸

我が国のエネルギー政策について……………経済産業省　資源エネルギー庁長官官房総合政策課エネルギー情報企画室長	成瀬茂夫	Vol. 27	No. 1 - 14
水素の高度利用を核とした持続可能社会への現実的な中間シナリオ ……………東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻教授	岡崎健	Vol. 27	No. 1 - 16
エネルギー節約は最大の資源・幸福の基礎……………(財)若狭湾エネルギー研究センター　所長	新宮秀夫	Vol. 27	No. 2 - 1
バイオリファイナリーの現状と将来展望……………(財)地球環境産業技術研究機構　微生物研究グループ研究員	沖野祥平	Vol. 27	No. 2 - 7
〃	〃		
〃	〃		
水素社会における燃料電池自動車の効率について ― Well to Wheel総合効率の評価 ― ……………慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授	石谷久	Vol. 27	No. 3 - 1
廃棄物発電とバイオマスエネルギー利用の現状と課題……(財)エネルギー総合工学研究所　エネルギー技術情報センター長	小川紀一郎	Vol. 27	No. 3 - 6
水素エネルギーシステムの評価と長期的課題……………(財)地球環境産業技術研究機構　副理事長兼研究所長	茅陽一	Vol. 27	No. 4 - 1
石炭ガス化複合発電（IGCC）の現状と展望……………(株)クリーンコールパワー研究所　建設本部副本部長	長井輝雄	Vol. 27	No. 4 - 5
地球温暖化防止にむけた国連CDM理事会の現状と方向……………電源開発株取締役 （元 （財）日本エネルギー経済研究所　常務理事兼アジア太平洋エネルギー研究センター　所長）	藤富正晴	Vol. 27	No. 5 - 2
総合科学技術会議第三期基本計画について： エネルギー分野の推進戦略……………筑波大学大学院システム情報工学研究科教授	内山洋司	Vol. 27	No. 6 - 1

〔特 集〕交通システムと省エネルギー

(1) はじめに	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授	石 谷 久	Vol. 27	No. 1 - 21
(2) 運輸部門におけるエネルギー政策	経済産業省資源エネルギー庁 長官官房総合政策課政策企画係長	大 江 健太郎	Vol. 27	No. 1 - 22
(3) 自動車				
1) ディーゼル自動車	北海道大学大学院工学研究科エネルギー環境システム専攻教授	小 川 英 之	Vol. 27	No. 1 - 26
2) ハイブリッド自動車の性能向上について	トヨタ自動車㈱HVシステム開発部	阿 部 眞 一	Vol. 27	No. 1 - 30
3) 渋滞半減へのシナリオ	東京大学国際・産学共同研究センター教授	桑 原 雅 夫	Vol. 27	No. 1 - 34
(4) 自転車を有効活用したまちづくりと都市交通				
	財シマノ・サイクル開発センター 事務局長兼自転車博物館サイクルセンター 学芸員	中 村 博 司	Vol. 27	No. 1 - 38
(5) 鉄道における省エネルギー技術	財鉄道総合技術研究所 車両制御技術研究部動力システム研究室室長	寺 内 伸 雄	Vol. 27	No. 1 - 43
(6) 航空業界が挑戦する省エネルギー	㈱日本航空 地球環境部マネージャー	大佐古 晃	Vol. 27	No. 1 - 47
(7) 船とエネルギー	三菱重工業㈱船舶・海洋事業本部船舶技術部商船計画グループ長	湯 浅 和 昭	Vol. 27	No. 1 - 52

〔特 集〕気候変化研究の最前線

(1) 気候変化研究について	東京大学気候システム研究センター教授	住	明	正	Vol. 27	No. 2	- 12
(2) 日本、世界の気候変動の現状と予測							
1) 気象観測の現状	気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部部長	高	山	陽	三	Vol. 27	No. 2 - 16
2) モデルによる将来の気候変化予測	気象庁 気象研究所 気候研究部第一研究室長	鬼	頭	昭	雄	Vol. 27	No. 2 - 19
(3) 気候変化要因の分析：現状と課題							
1) 雲・エアロゾルと気候の関係	東京大学気候システム研究センター教授	中	島	映	至	Vol. 27	No. 2 - 24
2) 有効な環境政策のための気候モデルとは	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授	伊	藤	公	紀	Vol. 27	No. 2 - 30
(4) IPCCの位置づけ — その役割と意義	独海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター特任研究員	近	藤	洋	輝	Vol. 27	No. 2 - 35

〔特集〕グローバル化時代における中国のエネルギー問題

(1) 中国が直面しているエネルギー問題と持続可能なエネルギー戦略	中国国家發展改革委員会エネルギー研究所 副所長	戴彦德	Vol. 27	№ 3 - 11
	(翻訳者 立命館大学政策科学部教授	周璋		
	〃 (財)日本エネルギー経済研究所 主任研究員	沈中元		
(2) エネルギー動向と国際戦略	(財)日本エネルギー経済研究所 常務理事	兼清賢介	Vol. 27	№ 3 - 16
(3) 石油需要増大とアジアのエネルギー安全保障	東洋大学経済学部社会経済システム学科教授	小川芳樹	Vol. 27	№ 3 - 21

(4) 原子力発電の現状と未来	上海Tepia総合研究所 常務副所長	邢 輝	Vol. 27	№ 3 - 26
	（ 翻訳者 立命館大学政策科学研究科博士後期課程	邱 瑞 艶		
	“ “ “ “	保 田 祐 子		
	“ “ 政策科学部教授	周 瑋 生		
(5) 住宅におけるエネルギー問題	埼玉大学経済学部社会環境設計学科教授	外 岡 豊	Vol. 27	№ 3 - 31
(6) 業務用エネルギー管理推進に向けた展望	日本貿易振興機構（JETRO）上海センター経済産業部長	古 谷 寿 之	Vol. 27	№ 3 - 36
(7) 省エネ政策とポテンシャル	立命館大学政策科学部教授	周 瑋 生	Vol. 27	№ 3 - 39
	中国国家發展改革委員会環境と資源総合利用局省エネ課課長	呂 文 斌		

〔特 集〕循環型社会におけるマテリアル

(1) 物質フローの系統的把握と循環型社会	・(独)国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター長	森口祐一	Vol. 27	No. 4 - 11
(2) マテリアルフローから見た循環型社会				
1) 産業連関分析を用いた製品マテリアル組成推定とMFAへの応用	早稲田大学政治経済学術院教授	中村慎一郎	Vol. 27	No. 4 - 16
2) e-wasteの国際資源循環と資源性・有害性				
・(独)国立環境研究所 循環型社会・廃棄物研究センター国際資源循環研究室	村上進亮	Vol. 27	No. 4 - 21	
〃	吉田綾			
〃	村上理映			
〃	寺園淳			
3) 日本発の使用済み自動車の国際循環				
・(独)産業技術総合研究所 ライフサイクルアセスメント研究センター研究員	布施正暁	Vol. 27	No. 4 - 25	
(3) マテリアルリースと循環型社会				
1) マテリアルリースと社会システムの構築	・(独)物質・材料研究機構 材料ラボラボ長	原田幸明	Vol. 27	No. 4 - 29
2) 素材の再生技術の現状とマテリアルリース技術	東北大学多元物質科学研究所教授	中村崇	Vol. 27	No. 4 - 34
3) 鉄鋼産業のマテリアルリースが誘導する資源循環システムの設計と資源生産性の向上				
・大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻教授	盛岡通	Vol. 27	No. 4 - 38	
〃	助手 山本祐吾			
〃				
〃				
〃				

〔特集〕 国際LNG市場の動向とLNG冷熱利用の現状と取り組み

(1) 国際LNG市場の構造変化 ……………(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 石油・天然ガス調査グループ・リーダー (首席エコノミスト)	石 井 彰	Vol. 27	No. 5 - 6
(2) わが国におけるLNG冷熱利用の現状と利用拡大への取り組み ……………(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO技術開発機構) 省エネルギー技術開発部主査	山 中 義 一	Vol. 27	No. 5 - 11
(3) LNG直接噴霧・混合によるガス冷却装置の開発 ……………東京電力㈱火力部火力エンジニアリングセンターLNG設備グループ副長	織 戸 保 成	Vol. 27	No. 5 - 16
(4) LNG冷熱利用による液化水素製造方法の開発 ……………岩谷産業㈱産業ガス・溶材本部 ガス技術部部长	渡 辺 聡	Vol. 27	No. 5 - 19
(5) LNG-BOG処理技術 ……………東京ガス㈱エネルギー生産部	白 川 裕	Vol. 27	No. 5 - 22
(6) 蓄冷式BOG再液化技術とLNG冷熱のカスケード利用 ……………大阪ガス㈱エンジニアリング部	間 渕 暢 浩	Vol. 27	No. 5 - 25
(7) 冷熱を利用した超電導ケーブルシステムの検討 ……………住友電気工業㈱電力・エネルギー研究所主幹 古河電気工業㈱環境・エネルギー研究所マネージャー	廣 瀬 正 幸 向 山 晋 一	Vol. 27	No. 5 - 28

〔特集〕燃料電池自動車実現へのマイルストーン—JHFC（水素・燃料電池実証）プロジェクトの総括と今後の方向—

(1) JHFCプロジェクト全体概要	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター長	増 永 邦 彦	Vol. 27	№ 6 - 6
	〃	〃 主管	平 野 出 穂		
(2) 燃料電池車の試験結果	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター主任研究員	井 関 英 治	Vol. 27	№ 6 - 10
	〃	〃 主管	平 野 出 穂		
(3) JHFC水素ステーションの建設および運用結果	・(財)エンジニアリング振興協会	技術部水素プロジェクト室課長	岡 本 歩	Vol. 27	№ 6 - 14
	〃	〃 研究主幹	久保山 孝 治		
	〃	〃 室長代理	戸 室 仁 一		
(4) 総合効率検討結果	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター主任研究員	荻 野 法 一	Vol. 27	№ 6 - 19
	〃	〃 技術参与	丹 下 昭 二		
(5) JHFC水素・燃料電池実証プロジェクト 広報活動	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター企画・実証グループ技師	渡 邊 知 絵	Vol. 27	№ 6 - 24
	〃	〃 主管	平 野 出 穂		
(6) 海外におけるFCV実証試験動向	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター技術参与	丹 下 昭 二	Vol. 27	№ 6 - 28
(7) 今後の課題及び今後の実証試験について	・(財)日本自動車研究所	FC・EVセンター主管	平 野 出 穂	Vol. 27	№ 6 - 32
	(財)エンジニアリング振興協会	技術部水素プロジェクト室室長代理	戸 室 仁 一		

(5) シリーズ特集

明日を支える資源 (104) <連載: 資源情報の利用と展開③>

GISデータベースと鉱物資源開発戦略.....三井金属資源開発株式会社環境事業部情報処理部部长 和田一成 Vol. 27 No. 2 - 40
〃常務取締役 西川有司
独国際協力機構 経済開発部資源・省エネルギーチーム職員 小島元

明日を支える資源 (105) <連載：資源情報の利用と展開④>

中国資源確保政策の最新動向
(御)石油天然ガス・金属鉱物資源機構 鉱害防止支援業務グループ企画チームチームリーダー 納 篤 Vol. 27 No. 5 - 31

(6) 研究論文

新車燃費向上施策としてのfeebatesとその効果 中央大学理工学部助教授 谷 下 雅 義 Vol. 27 No. 1 - 56
 〃 〃 教授 鹿 島 茂
 東京都建設部 栗 原 崇 晃
 日本自動車研究所 総合研究部 湊 清 之

ゼオライトヒートポンプを用いた暖冷房・給湯システムに関する基礎的研究	山口大学工学部技術職員 理学研究科大学院生 教授	山下哲生 謝学海 中村安弘	Vol. 27	No. 1 - 63
家計の電力消費の世帯要因による分析	(独)産業技術総合研究所 ライフサイクルアセスメント研究センター環境効率研究チーム主任研究員 センター長	野村昇 稲葉敦	Vol. 27	No. 1 - 69
消費者の選好を考慮した燃料電池自動車の普及可能性評価	東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻修士課程 助教授 教授	長谷川貴彦 吉田好邦 松橋隆治	Vol. 27	No. 2 - 46
CO ₂ 大幅削減に向けた欧州諸国の取り組みとわが国の挑戦	京都大学大学院地球環境学堂地球益学廊助手 教授	河瀬玲奈 松岡譲一	Vol. 27	No. 2 - 53
RPS制度対象エネルギーに対する家庭用需要家意識の分析	(財)電力中央研究所 社会経済研究所主任研究員	藤野純一 田頭直人 馬場健司	Vol. 27	No. 2 - 60
都市スケールでの未利用エネルギー導入による省エネ効果の詳細評価モデル	(独)国立環境研究所 社会環境システム研究領域主任研究員 明星大学理工学部環境システム学科助教授 みずほ情報総研㈱チーフコンサルタント	森保文 亀卦川幸浩 内田裕之	Vol. 27	No. 3 - 44
事務所および住宅における空調・給湯用エネルギー消費量の気温暖度算定に関する各種手法の相互比較	埼玉大学大学院理工学研究科環境制御工学専攻学振特別研究員 明星大学理工学部環境システム学科助教授 (独)産業技術総合研究所 LCA研究センター主任研究員 環境管理技術研究部門	平野勇二郎 亀卦川幸浩 玄地裕昭	Vol. 27	No. 3 - 51
厨芥を対象とした熱化学的変換の基礎的研究	松下電器産業㈱松下ホームアプライアンス社技術本部冷機研究所主任技師 岐阜大学大学院工学研究科環境エネルギーシステム専攻教授	田中正昭 尾崎仁寛 守富寛	Vol. 27	No. 3 - 58
木質系バイオマスからエネルギー物質を作り出すシステムの効率と経済性の検討	(独)産業技術総合研究所 バイオマス研究センター 中国センター所長	福田哲久 黒田正範 藤本真司 佐々木義之 坂西欣也 美濃輪智朗 矢部彰	Vol. 27	No. 4 - 43
家庭の電力消費の内訳を解析するシステムの検討	日本電気㈱基礎・環境研究所研究員（現在 (独)産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門） 東京大学先端科学技術研究センター特任教授 (株)リコー 戸田技術センター	松本光崇 藤本淳 榎本忠保	Vol. 27	No. 4 - 49
カルド型ポリイミド膜を用いた膜分離法CO ₂ 分離回収・液化システムの評価	(財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ研究員 主任研究員 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授	森本慎一郎 風間伸吾 手塚哲央 吉川榮和	Vol. 27	No. 4 - 55
福島県天栄村湯本地区における古来のエネルギーシステムの持続可能性	東北大学大学院環境科学研究科博士課程 教授	池上真紀 新妻弘明	Vol. 27	No. 5 - 37
事務所街区におけるヒートアイランド対策および省エネルギー対策導入による年間気温・エネルギー消費変化の同時評価	(独)産業技術総合研究所 ライフサイクルアセスメント研究センター研究員 明星大学理工学部環境システム学科助教授 みずほ情報総研㈱ (独)産業技術総合研究所 ライフサイクルアセスメント研究センターチーム長 環境管理技術研究部門グループ長	井原智彦 亀卦川幸浩 旭一岳 玄地裕昭 近藤裕昭	Vol. 27	No. 5 - 44
二酸化炭素吸収型水素製造プロセスにおけるエネルギー的検討	名古屋大学大学院工学研究科エネルギー理工学専攻 エコトピア科学研究所エネルギー科学研究部門助教授 東邦ガス㈱エネルギー技術開発部	朴海洋 布施卓哉 廣田靖樹 小林敬幸 葛山弘一	Vol. 27	No. 5 - 51
バイオディーゼル燃料の品質性状と車両影響及びその対策	京都市環境局 施設部施設整備課課長 京都大学大学院エネルギー科学科教授 福井工業大学機械工学科教授	中村一夫 塩路昌宏 池上詢	Vol. 27	No. 5 - 57
普通ディーゼル貨物車燃料規制の影響分析	中央大学理工学部助教授 教授 東京都建設部 (財)日本自動車研究所 総合研究部	谷下雅義 鹿島茂 栗原崇晃 湊清之	Vol. 27	No. 6 - 35
都道府県を対象とした家庭部門CO ₂ 削減方策の定量評価 ― 岩手県への家庭用高効率エネルギー機器導入ケース	(独)国立環境研究所 地球環境研究センター温暖化対策評価研究室 東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻教授	芦名秀一 中田俊彦	Vol. 27	No. 6 - 42

バイオディーゼル燃料の酸化安定性とその改善……………	京都市環境局 施設部施設整備課課長 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授 福井工業大学機械工学科教授	中 村 一 夫 坂 志 朗 池 上 詢	Vol. 27	№ 6 - 49
都市家庭部門エネルギー最終需要モデルの検証と気温上昇影響 ……………	大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻助教授 〃 〃 〃 環境工学専攻大学院生 〃 〃 〃 環境・エネルギー工学専攻助手 〃 〃 〃 環境工学専攻大学院生 〃 〃 〃 環境・エネルギー工学専攻教授 〃 〃 〃 電気電子工学専攻教授	下 田 吉 之 中 尾 寿 孝 鳴 海 大 典 羽 原 宏 美 水 野 稔 辻 毅一郎	Vol. 27	№ 6 - 54
ブルータワーガス化プロセスにおけるヒートキャリア（アルミナ）に対するアルカリ金属の影響 ……………	(株)日本計画機構 コンサルティング事業本部取締役本部長 群馬大学工学部生物化学工学科助手 〃 〃 〃 教授	亀 山 光 男 森 下 佳代子 宝 田 恭 之	Vol. 27	№ 6 - 61

(7) 技 術 報 告

＜循環型社会を考えたマテリアルリサイクル②＞ 高リサイクル性指標の具体的な算出方法……………	東京大学大学院工学系研究科助手 東北大学大学院環境科学研究科助手	醍 醐 市 朗 中 島 謙 一	Vol. 27	№ 1 - 75
産業連関表を用いた長野県産業における環境影響物質（CO ₂ , NO _x , SO _x , SPM排出量）の推計 ……………	長野県工業技術総合センター 製品科学チーム研究員 信州大学大学院工学系研究科材料工学専攻教授	石 坂 和 明 藤 井 恒 男	Vol. 27	№ 2 - 67
＜循環型社会を考えたマテリアルリサイクル③＞ 産業界から見た新指標への考え方と今後の課題……………	(社)産業環境管理協会 エコリーフ事業センター業務室長	小 関 康 雄	Vol. 27	№ 3 - 64

(8) 見 聞 記

国連世界情報社会サミット（WSIS）のWFISに参加して……………	関西大学総合情報学部教授	伊 藤 俊 秀	Vol. 27	№ 2 - 71
「中国東北振興戦略と日中CDMの可能性」シンポジウムに参加して……………	立命館大学政策科学部教授	周 瑋 生	Vol. 27	№ 4 - 62
第23回世界ガス会議に参加して……………	東京ガス(株)商品開発部PEFC開発グループ（国際ガス連盟WOC5委員）	前 田 賢 二	Vol. 27	№ 5 - 62

(9) 書 評

スモール・イズ・プロフィタブル 分散型エネルギーが生む新しい利益（エイモリー・B・ロビンス 他著，山藤 泰訳，(財)省エネルギーセンター発行） ……………	東京ガス(株)R&D本部技術開発部ホロニックエネルギーシステムグループマネージャー	徳 本 勉	Vol. 27	№ 1 - 79
骨太のエネルギーロードマップ（亀山秀雄監修，加藤之貴編集（化学工学会エネルギー部会編），化学工業社発行） ……………	京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授	吉 田 英 生	Vol. 27	№ 2 - 73
大人のための自転車入門（丹羽隆志，中村博司著，日本経済新聞社発行） ……………	京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授	吉 田 英 生	Vol. 27	№ 2 - 73
熱交換器ハンドブック（吉田邦夫，吉田英生監修，(財)省エネルギーセンター発行） ……………	大阪ガス(株)エネルギー技術研究所シニアエンジニア所長付	久 角 喜 徳	Vol. 27	№ 3 - 68
絵でみる石油ビジネスのしくみ（茂木源人著，日本能率協会マネジメントセンター発行） ……………	京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授	吉 田 英 生	Vol. 27	№ 4 - 64
エコリユクサック 環境負荷を示すもう一つの「重さ」 （フリードリッヒ・シュミット＝ブレイク著，佐々木建編，花房恵子訳，(財)省エネルギーセンター発行） ……………	関西大学総合情報学部教授	伊 藤 俊 秀	Vol. 27	№ 5 - 64
エネルギー・オセロゲーム 独占時代の終焉（山家公雄著，エネルギー・フォーラム発行） ……………	京都大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻教授	吉 田 英 生	Vol. 27	№ 5 - 64
21世紀の海洋エネルギー開発技術（(社)日本海洋開発建設協会，海洋工事技術委員会著，(株)山海堂発行） ……………	大阪ガス(株)エネルギー技術研究所リビングシステム技術TBUシニアエンジニア	久 角 喜 徳	Vol. 27	№ 6 - 67

(10) グループ紹介

株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング関西 ……………	(株)NTTファシリティーズエンジニアリング関西 営業部担当課長	奥 野 昭 一	Vol. 27	№ 1 - 80
千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社 ……………	千代田アドバンス・ソリューションズ(株)プロジェクト・ソリューション事業本部営業・担当部長	五十嵐 亮	Vol. 27	№ 2 - 74
フジプレミアム株式会社……………	フジプレミアム(株)IR・広報部	堀 川 裕 美	Vol. 27	№ 4 - 65
三機工業株式会社……………	三機工業(株)技術開発本部	助飛羅 力	Vol. 27	№ 5 - 65

(11) 技術・行政情報

平成18年度経済産業省概算要求……………	(独)産業技術総合研究所 ユビキタスエネルギー研究部門	宮 崎 義 憲	Vol. 27	№ 1 - 81
COP11及びCOP/MOP 1 の動向……………	(株)三菱総合研究所 地球環境研究本部長	中 村 秀 臣	Vol. 27	№ 2 - 75
米国「国際原子力エネルギーパートナーシップ」構想 ……………	(財)電力中央研究所 社会経済研究所地域経済・エネルギー技術政策領域リーダー上席研究員	長 野 浩 司	Vol. 27	№ 3 - 69
……………	関西サイエンス・フォーラム事務局長	兼 子 次 生	Vol. 27	№ 4 - 66
経済産業省での技術戦略マップ改訂へ ― 2006技術戦略マップの策定が進む ……………	(独)産業技術総合研究所 ユビキタスエネルギー研究部門副部門長	谷 本 一 美	Vol. 27	№ 5 - 66

(12) 談 話 室

信じた「真実」，信じたくない「真実」……………	大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻化学工学領域教授	上 山 惟 一	Vol. 27	№ 1 - 83
アラン・マン先生の死を悼む……………	東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻教授	山 地 憲 治	Vol. 27	№ 2 - 77

第2回国際水素・燃料電池展 (FC EXPO2006) を終えて	栗田工業(株)新エネルギーグループ部長	佐藤重明	Vol. 27	No. 3 - 71
太陽の恵み	(独)科学技術振興機構 研究開発戦略センターアソシエイト・フェロー	大矢克	Vol. 27	No. 4 - 68
「第16回世界水素エネルギー会議」に出席して	名古屋大学エコトピア科学研究所エネルギー科学研究部門助教授	小林敬幸	Vol. 27	No. 5 - 67
ヒートアイランド	(株)大林組技術研究所 都市・居住環境研究室室長	小宮英孝	Vol. 27	No. 6 - 68

(13) そ の 他

論文賞受賞論文要旨			Vol. 27	No. 5 - 1
-----------------	--	--	---------	-----------